

バンド演奏や歌劇、三味線も

若き才能 きらめく

高津で「たまりばフェス」



川崎市高津区の「フリースペースえん」に集う子ども、若者たちが七日、「たまりばフェスティバル」を開催。同区の市男女共同参画センター(すくらむ21)で開き、音楽や演劇など日ごろの活

動成果を発表した。「フリースペースえん」は一九九一年、高津区で学校や家庭、地域に居場所を見いだせない子ども、若者たちの居場所「フリースペースたまりば」としてスタート。二〇一三年には「た

演目のめくりも自分たちで。バンド演奏などを披露した、たまりばフェスティバル
①峯森さん(右端)の鉄道写真に、子どもたちも興味津々=いずれも高津区で



まりば」がNPO法人になり、公設民営の居場所「えん」を市子ども夢パーク(同区)内で運営している。

ステージ発表はバンド演奏、歌劇、津軽三味線など盛りだくさん。プロの演奏家や俳優らの指導を受けており、バンドは自信からくる伸び伸びした音を響かせた。東京都目黒区から来ている峯森開さん(28)は趣味で撮りためた鉄道写真を紹介。人気アニメ「妖怪ウォッチ」をデザインした電車の写真もあり、子どもたち

が喜んだ。

当日の運営からプログラム、パンフレット作りまで子ども、若者たち自身で手掛けた。

居場所を持ちにくかった子どもたちが、協力して運営、発表する姿に、たまりばの西野博之理事長は「不足を補う教育ではなく、才能に光を当てたら伸び、結果的にできなかったこともできるよう変化した。二十四年間やってきて、子どもたちに教わることは多い」と語る。

えんには現在、六、四十

六歳の百人以上が登録。保護者が熱心に情報を仕入れてやってくるケースが多いが、「保護者の支援がない子にも、「必ず道はある」と知らせたい」と西野さん。「社会的ニーズは高い。この活動が各地に広がってほしい」と願っている。

(山本哲正)